

GIC Private Limited を割当予定先とする新株式発行のお知らせ

当社は、2026 年 7 月 9 日付の取締役会において、GIC Private Limited を割当予定先とする第三者割当による新株式（以下「本新株式」といいます。）を発行すること（以下「本第三者割当」又は「本資金調達」といいます。）を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 募集の概要

（１）払込期日	2026 年 7 月 27 日
（２）発行新株式数	5,082,000 株
（３）発行価額	1 株につき 3,195 円
（４）資金調達の額	16,008,439,600 円（注）
（５）募集又は割当方法（割当予定先）	第三者割当の方法により、以下のとおり割り当てます。 GIC Private Limited 5,082,000 株
（６）その他	当社は、GIC Private Limited（以下「割当予定先」といいます。）との間で、金融商品取引法に基づく届出の効力発生後に、本新株式に係る総数引受契約を締結する予定です。

（注）資金調達の額は、本新株式の払込金額の総額（16,236,990,000 円）から、本新株式に係る発行諸費用の概算額（228,550,400 円）を差し引いた金額です。

2. 募集の目的及び理由

当社は、2027 年 2 月期を初年度とする新たな 5 か年の中期経営計画（以下「新中期経営計画」といいます。）を策定し、創業期の調剤併設型ドラッグストアのパイオニアとしての成長及びヘルスケア×DX による磨き込みによる成長を軸とする事業戦略の推進と、投資と財務健全性の両立を図る財務戦略の遂行により、企業価値の最大化を追求してまいります。

我が国のドラッグストア・調剤薬局業界におきましては、企業間競争と薬局の選別が一層激しさを増すものと想定され、異業種を巻き込んだ M&A や合従連衡による大手企業主導の業界再編が加速していくものと見込まれます。このような環境を、当社にとって M&A 機会の増大という戦略的に重要な局面と捉えて、当社が次のステージに到達するためには、オーガニック成長のみに依存せず、M&A を含む非連続的成長を機動的に実行できる財務基盤の構築が不可欠です。また、当社は既存株主の皆様との長期的な信頼関係を構築しつつ、持続的な企業価値向上に向けて、新たなグローバル機関投資家を株主として加え、株主構成を一層充実させることが、時価総額の拡大に向けた有効な取り組みであると認識しております。本第三者割当は、こうした財務基盤の構築及び株主構成の充実という両面に対応し得る手段として実施するものであります。

割当予定先は、1981 年にシンガポールの外貨準備金を運用する目的で設立されたグローバル機関投資家であり、シンガポールに本社を置き、世界 11 の主要金融都市に 2,300 名を超える人材を擁し、40 か国以上に投資を行うグローバルな体制を有しております。長期的な投資方針、多様なアセットクラスの運用能力及び広範なグローバルネットワークを強みとし、被投資企業に対し、取締役会・経営陣への助言、自社の知見やグローバルネットワークへのアクセス提供などのパートナーシップを可能にしております。当社にもたらす具体的価値は、以下のとおりです。

第一に、海外機関投資家層への株主構成の深化です。当社は国内小売業という業態特性上、海外機関投資家からの認知度に課題があり、これは新中期経営計画に掲げる市場評価目標の達成に向けた重要な課題と認識しております。本第三者割当により新たなグローバル機関投資家を株主として迎えることで、これまで当社株式を保有してこなかった投資家層への認知度向上を加速いたします。

第二に、グローバルネットワークを活用した海外事業展開機会の獲得です。当社は、「トータルヘルスケア戦略」の海外展開を中長期的成長戦略の重要な柱と位置付けております。これは単なる商品供給にとどまらず、医療・介護領域、富裕層を中心とした国内外相互送客、ジェネリック医薬品領域における垂直連携等、多岐に

わたる領域に及びます。当社の事業構造は近い将来、日本国内のみで完結する段階から、グローバルな枠組み及び視点のもとで国内事業についても新たな事業モデルを構築する段階に進みます。割当予定先が有する世界40か国以上にわたるグローバルネットワーク、多岐にわたるビジネスパートナー・公共セクター・医療機関・その他優良企業との接点は、当社にとって自力での関係構築が困難な戦略的資源です。当社の国内及び海外事業を加速する上で、他に代え難い戦略的パートナーになり得るものと考えております。

第三に、経営の自律性及び経営理念を尊重するパートナー株主の獲得です。割当予定先は、被投資企業の事業の独自性及び経営理念を尊重する建設的な株主としての姿勢を一貫して取っており、これは創業以来当社が大切にしてきた「地域のヘルスケアのインフラ」という経営理念及び新中期経営計画における非連続的成長戦略と深く整合するものです。当社の中長期的な経営判断を支えるパートナー株主として、新中期経営計画の着実な遂行を支える基盤となります。

第四に、業界再編期における共同投資パートナーとしての機能です。割当予定先は、国内外の業界リーディングプレーヤーとの大型共同投資・合併事業の実績を多数有しております。我が国のドラッグストア・調剤薬局業界が再編フェーズを迎える中、当社が今後機動的に推進する大型 M&A 及びプラットフォーム展開において、割当予定先は単なる資金提供者にとどまらず、共同投資・資金提供パートナーとしての機能を果たし得る存在です。

第五に、新中期経営計画に基づく成長投資資金の確保です。本第三者割当による調達資金は、出店投資、DX・AI 関連投資、スペシャリティ医薬品調剤の展開、新規事業領域への先行投資、物流・本部機能のデジタル化投資等、新中期経営計画の成長投資の原資の一部として活用いたします。同時に、自己資本基盤の戦略的強化を通じて、業界再編期における大型 M&A 機会への対応力を確保するものです。

本資金調達を通じて、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

3. 代表者コメント

〈スギホールディングス株式会社 代表取締役社長・杉浦 克典のコメント〉

当社グループは、「トータルヘルスケア・カンパニー」への進化を掲げ、地域のヘルスケアインフラとしての役割を一層拡大してまいります。この度、グローバル機関投資家である GIC を株主としてお迎えできることを大変嬉しく思います。GIC が有するグローバルなネットワークと長期的な視座は、当社の海外展開や非連続的な成長機会の追求において、大きな力になると確信しております。今後も GIC との建設的な対話を重ね、すべての人々の健康で豊かな生活への貢献を一層加速させてまいります。

〈GIC Private Limited のコメント〉

GIC は、長期的な方針に基づき投資を行うグローバル機関投資家として、日本において中長期的な成長を志向する企業への投資を積極的に進めております。スギホールディングスは、中核となる調剤薬局とドラッグストアに留まらず、高齢化社会における需要の拡大が見込まれる様々なヘルスケア事業に取り組んでいます。今般の投資を通じ、スギホールディングスの成長に伴走できることを大変嬉しく思っております。

4. 企業概要

1) スギホールディングス株式会社

代表者	代表取締役社長 杉浦 克典
本社所在地	愛知県大府市横根町新江 62 番地の 1
設立	1982 年 3 月 8 日
URL	https://www.sugi-hd.co.jp/

2) GIC Private Limited

代表者	Shin Horie Managing Director, Head of Japan Office, Representative Director
本社所在地	168 Robinson Road, #37-01 Capital Tower, Singapore 068912
設立	1981 年 5 月 22 日
URL	https://www.gic.com.sg/jp/

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

スギホールディングス株式会社 コーポレートブランディング部 担当：杉山・赤津
電話：0562-45-2700（代表）

GIC Private Limited
168 Robinson Road, #37-01 Capital Tower, Singapore 068912
電話：+03-5219-2911（本件に関する問い合わせ先）